

平成30年（2018年）招集大阪狭山市議会定例会12月定例会月議会 議決結果一覧

議案名		大阪狭山 維新の会		公明党			政風 クラブ			日本共産党 議員団			リベラル さやま		鳥山 健	西野 滋胤	議決 結果
		上 谷 元 忠	小 原 一 浩	片 岡 由 利 子	北 好 雄	徳 村 賢	須 田 旭	松 井 康 祐	山 本 尚 生	北 村 栄 司	薦 田 育 子	松 尾 巧	井 上 健 太 郎	丸 山 高 廣			
議員 提出	議会基本条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
人事 案件	人権擁護委員の候補者（北田徹氏） の推薦	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	適任
条 例	生産緑地地区の区域の規模に関 する条例／財産区管理会の設置 等に関する条例の一部改正／大 阪狭山市長の選挙における選挙 運動用ビラの作成の公費負担に 関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般職の職員の給与に関する条 例の一部改正	×	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	可決
予 算	茱萸木財産区特別会計予算／東 野財産区特別会計補正予算（第2 号）／一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	★	○	○	○	○	○	○	○	可決
	一般会計補正予算（第7号）	×	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
請 願	「議員定数×報酬で10%削 減」市の現状に応じた議員定数 と報酬に条例改正することを求 める請願	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	○	×	不採択
	議員定数2名削減を求める請願	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	○	○	不採択
	新たな国民負担が伴う地方議会 議員の厚生年金加入に断固反対 する意見書の提出を求める請願	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	○	不採択
	放課後児童会の充実を求める請 願	×	×	×	×	×	×	×		○	○	○	×	×	×	×	不採択
	「子どもの医療費助成」を18 歳まで拡充を求める請願 ※1	○	○	×	×	×	×	×	×		○	○	○	×	×	○	○
要 望	子どもの貧困対策に関する要望（要 望項目の3点目に関する部分）	○	×	×	×	×	×	×		○	○	○	×	×	×	×	不採択
	子どもの貧困対策に関する要望（要 望項目の3点目を除く部分）／介護 保険に関する要望	×	×	×	×	×	×	×	★	○	○	○	×	×	×	×	不採択
	国民健康保険・医療についての要望 ※2	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇		○	○	○	◇	◇	◇	◇	一部採択
継続 審査	大鳥池「太陽光発電パネル」の削減 及び設置場所の移動・環境整備につ いての請願 ※3	○	○	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	△	△	継続審査

議案名	会派名 議員名	大阪狭山 維新の会		公明党			政風 クラブ			日本共産党 議員団			リベラル さやま		鳥山 健	西野 滋胤	議決 結果
		上谷 元忠	小原 一浩	片岡 由利子	北 好雄	徳村 賢	須田 旭	松井 康祐	山本 尚生	北村 栄司	薦田 育子	松尾 巧	井上 健太郎	丸山 高廣			
意見書	地方消費者行政に対する国の政策支援に係る意見書／義援金差押禁止法の恒久化を求める意見書／認知症施策の推進を求める意見書／無戸籍問題の解消を求める意見書／北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可決
	新たな地方議会議員の被用者年金制度に関して慎重な検討を求める意見書	×	×	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	可決

■会派名及び議員名は、会派名とともに50音順。

■表の見方 『○』は賛成または採択、『×』は反対または不採択、『△』は継続審査、『★』は議長につき採決には参加していないことを示しています。

※1 『「子どもの医療費助成」を18歳まで拡充を求める請願』については、採決の結果、可否同数となり、議長による裁決が行われた結果を記載しています。

※2 『国民健康保険・医療についての要望』については、要望5項目のうち、「近大附属病院移転に関する基本協定書の締結を着実に実行するために、最大限の努力をしてください。」の部分のみを採択とする一部採択の結果を『◇』で記載しています。

※3 『大鳥池「太陽光発電パネル」の削減及び設置場所の移動・環境整備についての請願』については、継続審査を求める動議が提出されたため、その動議の採決を行いました。

『○』は動議に反対で採択を求めるもの、『△』は動議に賛成で継続審査を求めるものです。採決の結果、可否同数となり、議長による裁決の結果、この動議は可決され、総務文教常任委員会へ再付託し、継続審査することに決定しました。